



# Weekly Report



クラブ・テーマ 「これまでに感謝 これからを創造」 Share vision  
 — The 55th anniversary —

会 長 小林利郎 例会場：割烹「ふな又」 例会日：木曜日 点鐘 12:30~13:30  
 幹 事 出山知宏 事務所：さいたま市岩槻区本町 3-8-2-203 TEL048-758-0680 FAX048-758-0681  
<http://www.iwatsuki-rotaryclub.jp> E-mail:info@iwatsuki-rotaryclub.jp

小林利郎年度 第29回 通算2643例会

平成30年2月19日

国際ロータリー第2770地区  
 第4グループ

## Intercity Meeting

2018年2月19日(月)

パレスホテル大宮

### プログラム

13:30	登録受付開始	各事務局	
【第1部】	式典：3階 チェリールーム	司会：IM実行委員	真中 潤治 (大宮北東 RC)
14:30	開会・点鐘	ガバナー補佐	清水 恒信 (大宮西 RC)
	国歌斉唱	ソングリーダー	林 雅之 (大宮北 RC)
	ロータリーソング斉唱 (奉仕の理想)	ソングリーダー	林 雅之 (大宮北 RC)
	ロータリーの目的・4つのテスト唱和	IM実行委員	岡津澤 清 (岩槻東 RC)
	開会の言葉	IM実行委員長	林 正 (大宮西 RC)
	来賓紹介	ガバナー補佐	清水 恒信 (大宮西 RC)
	ガバナー補佐挨拶	ガバナー補佐	清水 恒信 (大宮西 RC)
	来賓挨拶	公益社団法人 埼玉中央青年会議所 理事長	佐藤 公則様
	来賓挨拶	ガバナー	大貫 等様 (上尾西 RC)
	各クラブ報告 (テーマ 我がクラブの自慢)	ガバナー	各クラブ会長
	米山記念奨学生・青少年交換留学生スピーチ		
15:35	閉会点鐘	ガバナー補佐	清水 恒信 (大宮西 RC)
	(諸事案内)		
		—— 休憩 ——	
【第2部】	記念講演：3階 チェリールーム	司会：IM実行委員	真中 潤治 (大宮北東 RC)
15:50	講師入場		
	講師紹介	IM実行委員	小田 光司 (岩槻 RC)
	講演 テーマ「時は今」	講師：行徳 哲男様	
	謝辞	ガバナー補佐	清水 恒信 (大宮西 RC)
16:55	終了		
	(諸事案内)		
		—— 休憩・懇親会場 (4階ロズルーム)へ移動 ——	
【第3部】	懇親会：4階 ロズルーム	司会：第4グループ幹事	藤崎 剛史 (大宮西 RC) 村松空呂子 (大宮西 RC)
17:10	ロータリーソング斉唱		
	開会の挨拶	ガバナー補佐	清水 恒信 (大宮西 RC)
	来賓挨拶	さいたま市長	清水 勇人様
	来賓挨拶	パストガバナー	久世 晴登様 (大宮中央 RC)
	来賓挨拶	第3グループ ガバナー補佐	柴田 寛様 (大宮東 RC)
	乾杯	パストガバナー	田中 徹夫 (岩槻東 RC)
	アトラクション	クラシックユニット [Primo]	
	前年度ガバナー補佐へ花束贈呈	ガバナー補佐	清水 恒信 (大宮西 RC)
	IM実行委員紹介	ガバナー補佐	清水 恒信 (大宮西 RC)
	次年度ガバナー補佐紹介	ガバナー補佐	清水 恒信 (大宮西 RC)
	次年度会長・幹事紹介	次年度ガバナー補佐	菊池 和彦 (岩槻東 RC)
	ポリオ撲滅チャリティコンパのご案内	IM実行委員長	中村 雅之 (大宮西 RC)
18:30	手に手がないで	ソングリーダー	林 雅之 (大宮北 RC)
	大総め	パストガバナー	森田 武司 (大宮北東 RC)
	閉会の言葉	IM実行委員	新井 清太 (大宮西 RC)
18:40	解散		

### ご挨拶



ガバナー補佐  
清水 恒信



IM実行委員長  
林 正

本日はご多用中にもかかわらず、さいたま市長 清水勇人様、公益社団法人埼玉中央青年会議所 理事長 佐藤公則様、そして、国際ロータリー第2770地区 ガバナー 大貫等様をはじめとする、多くのロータリアンの皆様にご臨席を賜り、このインターシティミーティングが開催されますことを心より深く感謝申し上げます。

インターシティミーティングとは都市連合会のことであり、「近隣のクラブが集まって共通のテーマで語り合い、ロータリー情報及び教育の手段として研究・討議する会合」となっております。

従いまして、今年は成人教育の一環と考え、改めて自分を見つめ直し、ロータリアンとして、社会人として、職業人として、家庭人として、良き人間となるための経験を得ていただく、そんなインターシティミーティングにして参りたいと存じます。

ロータリークラブを通じ「変化をもたらす」ことはRI会長の言われる通り大事であります。世界で良い事をするのは大事であります。そして良い人間になる事はもっと大事なことでありと考えます。本日はぜひ、有意義な時間をお過ごし下さい。

### アトラクション



アトラクション  
クラシックユニット「Primo」



© 2018 Primo Inc.



◆次回の例会◆ 平成30年2月22日(木) クラブ・フォーラム(55周年記念式典) 点鐘 18:00 会場 ふな又

## 会場

- 第1部 セレモニー 3階チェリールーム
- 第2部 記念講演 3階チェリールーム
- 第3部 合同懇親会 4階ローズルーム



## 記念講演

### 行徳 哲男 (ぎょうとく てつお)

日本BE研究所 所長  
主な講演テーマ：感性教育



昭和8年福岡県生まれ。現在東京在住。  
昭和35年成蹊大学卒業。

昭和44年渡米し、Tグループの世界を知り、BE訓練プログラムを開発する。

昭和46年、日本BE研究所を設立。アメリカの行動科学、感受性訓練と日本の禅及び経営哲学を融合させたBasic Encounter Training,「人間開発、感性のダイナズム」訓練を完成させ、感性を取り戻す研修を行う。

平成11年12月、箱根山中の研修を終了するまで、550回、1800人以上がこのBE訓練に参加した。瞬時にして人の心に楔を打ち込み、理性の殻を打ち破りながら、実相に気づかせる姿は、まさに芸術である。

30年に及ぶ研修は、受講生とともに「人間万歳」を叫び続けた壮絶なドラマである。

著者に「いま、感性は力」「随所に主となる」「遺伝子は語る」(いずれも到知出版社)「全生語録」がある。その話は聞く人の魂をバイブレーションさせずにおかない強烈な力がある。

その力は財政界を始め、スポーツ界(松岡修造、青木功など)、芸能界、中小企業のオーナー等に多大な影響を与えている。

現在、感性論哲学者、芳村思風氏、筑波大学名誉教授、村上和雄氏と共に、シンポジウムを通じて「21世紀の日本の使命」を担い得る青年たちを育てる夢に賭けている。

28年間続けてきた4泊5日のBE研修は終了させたが、現在そのエッセンスを集めた2泊3日及び3泊4日の感性研修・BE訓練をスタートさせ、「まぎれもない自分」を取り戻すことの大切さを教え続けている。

